高齢者の豊かな生活のために　　２０２２年３月１日発行

手 賀 沼 通 信（第２８８号）

Ｅメール：nittay@jcom.home.ne.jp　http://ynitta.cocolog-nifty.com/blog/　新田良昭
http://jfn.josuikai.net/semi/koyukai　http://tegatu2.web.fc2.com

「手賀沼通信ブログ」抜粋は、令和２年１２月以後は「コロナ特集」に集中し「その－６」まで続きました。

今月も「手賀沼通信ブログ」抜粋ですが、令和２年６月以来のコロナ抜きを取り上げています。

ところが昨年１２月にオミクロン株が入ってきて、今年の１月、２月はまたコロナの嵐に巻き込まれました。いずれ「その－７」を書くことになります。

「手賀沼通信ブログ」抜粋

「新しい歴史教科書」を発行する自由社が国家賠償請求訴訟を提訴（ＮＯ．１５１３）（令和３年９月２４日）

手賀沼通信第２７８号に投稿いただいた「新しい歴史教科書をつくる会」の埼玉県支部長の篠原寿一氏から「つくる会ＦＡＸ通信」をいただきました。「自由社が国家賠償請求を提訴」についてのＦＡＸでした。

内容は次の通りです。

「『新しい歴史教科書』を発行する自由社は９月２１日、文科省の令和元年度検定において「違法検定」がなされ、その結果著しい被害を被ったとして、逸失利益など計１２００万円を求めた国家賠償請求訴訟を提訴しました。

被告は国（上川陽子法務大臣）に加え、検定の実質責任者である中前吾郎主任教科書調査官、村瀬信一教科書調査官（自由社担当）、黒沢文貴教科書検定審議会社会科部会歴史小委員長の個人三氏となります。

自由社は訴状において、中前吾郎と村瀬信一両被告が、共謀のうえ、一発不合格制度を適用して自由社を不合格にすることを企て、検定意見を水増しし、合計４０５件にまで検定意見を積み上げたとしました。さらに黒沢文貴小委員長については、水増しされた検定意見であることを知りながら、同小委員会を主導して４０５件の一発不合格の検定意見を決定したとして、三氏の検定における違法性を訴えました。またその証拠として、ダブルスタンダード事例を含む５０件の違法検定意見を提出しました。（後略）」

篠原さんはコメントとして、

「国家賠償請求裁判はなかなか難しい裁判だそうですが、文科省の左傾化をこれ以上放置することは危険であり、国家として日本国のためにならないという判断です。私も当事者の一人として記者会見に臨みました。産経新聞は掲載してくれましたが、他の新聞は無視なのでしょうね。司法省記者クラブの会見では１０社以上のマスコミが出席しましたが、文科省記者クラブは５～６社でした。」とありました。

全く別の話ですが、自民党総裁の候補になっている河野太郎氏の父親の河野洋平氏は官房長官時代にいわゆる従軍慰安婦の強制性を認めたうえ、謝罪するという「河野談話」を発表した張本人です。これがありもしない従軍慰安婦問題を大きくしました。

自由社の教科書は従軍慰安婦を否定しています。

私個人としては河野氏を応援していますが、もし総理になったときにも、この裁判に横やりを入れることはないと信じています。

よくやった横綱白鵬、がんばれ間垣親方（ＮＯ．１５１６）（令和３年１０月２日）

令和３年１０月１日今年の秋場所で引退した横綱白鵬が引退会見を行いました。

白鵬は日本に帰化して間垣親方を継ぎました。会見では２０年に及ぶ土俵生活を振り返り、「全部出し切りました」と述べていました。

白鵬は第６９代横綱として本当によく頑張りました。読売新聞にその記録が出ていました。

いずれも白鵬がナンバーワンの記録です。

・通算勝ち星　１１８７勝

・幕内勝ち星　１０９３勝
・横綱勝ち星　８９９勝
・横綱在位　８４場所
・横綱出場　１０１９回
・横綱連続出場　７２２回
・優勝　４５回
・１５戦全勝優勝　１６回
・連続優勝　７場所
・年間最多勝　１０回
・幕内連続勝ち越し　５１場所（戦後以降）
・連続２桁勝利　５１場所
・年間勝利記録　８６勝

過去の記録を抜けなかったのは、幕内在位（魁皇１０７場所）と連勝記録（双葉山６９連勝）くらいです。

白鵬の記録を破る力士は当分出ないと思います。

一方横綱らしくない態度も目につきました。張り手やかちあげやひじうちなどの乱暴な相撲、審判の判定への苦情、優勝インタビューでの三本締め、横綱日馬富士の暴行を止めなかったことなどです。

そのため間垣親方を襲名するにあたって、理事会に対して「新人の親方として、理事長はじめ先輩親方の指揮命令・指導をよく聞く」「大相撲の伝統文化や相撲道の精神、協会の規則・ルール・マナー、相撲道の習わし、しきたりを守る」などを納得して、誓約書に署名しました。

おそらく白鵬ならこれらを守ってしっかりした親方になってくれることでしょう。

ぜひ親方としても頑張ってほしいと願っています。

真鍋淑郎氏ノーベル物理学賞を受賞（ＮＯ．１５２０）（令和３年１０月７日）

２０２１年１０月５日、真鍋淑郎米プリンストン大上席研究員が２０２１年のノーベル物理学賞を受賞しました。

授賞理由は「地球温暖化を予測する地球モデルの開発」です。大型コンピュータを駆使して、二酸化炭素などの温室効果ガスが地球規模の気候変動に与えるなどを予測しました。ドイツのクラウス・ハッセルマン教授とイタリアのジョルジョ・パリージ教授が同時受賞となりました。

真鍋氏は私のふるさと愛媛県の出身です。現在は四国中央市になっていますが、四国山地の新立村に生まれ、田舎から東京大学に進みました。

１９５８年米気象局の研究員として渡米しました。６７年に高速コンピュータを使い、大気の運動と気温との関係を定めるモデルを開発し、「CO_2が２倍に増えると海上気温が２.３６度上昇する」と予測しました。さらに８９年には大気、海洋、陸上の気象が互いに与える影響を組み込んだ本格的な温暖化予測に成功しました。

温暖化問題はいま世界で最も重要な問題の１つです。それもこの受賞に関係しているのかもしれません。

気候学分野での物理学賞受賞は初めてです。日本人のノーベル賞受賞は２年ぶりで２８人目、真鍋氏はアメリカ国籍となっていますが、米国籍は３人です。また９０歳での受賞は日本人最高齢です。

プリンストン大学で開かれた記者会見では、「ビッグサプライズだ。私の研究が社会に貢献したと認められたように感じる。気候変動問題はエネルギーや農業、水など考えられるすべてのことにかかわっている」と述べました。

衆議院議員選挙－中選挙区制に戻すべき（ＮＯ．１５２９）（令和３年１１月１日）

令和３年１０月３１日衆議院議員選挙が行われました。岸田新首相になって、新内閣、新党組織のもとに約１か月後に行われた選挙でした。結果は次の通りでした。

	獲得議席	選挙前議席
・自民	２６１	２７６
・立民	９６	１０９
・維新	４１	１１
・公明	３２	２９
・国民	１１	８
・共産	１０	１２
・その他	１４	１６

自民党は選挙前の議席から減らしたものの、過半数（２３３）を上回りました。公明党と合わせた与党では国会を安定的に運営できる絶対安定多数（２６１）を上回りました。

立憲民主党は、共産、国民、れいわ新撰組、社民と５党連合を組みましたが、かえってそれが逆に作用したものと思われ数を減らしました。極端

に政策の違う共産党と組んだため、支持者離れをおこし、無党派層からもそっぽを向かれたのではないでしょうか。私の独断ですが、日本の共産党は、名前が同じ一党独裁の中国の習近平の共産党とイメージが重なると思います。

日本維新の会は４１名と４倍以上に数を伸ばしました。大阪を中心として関西地方で強さを発揮しました。

驚いたのは自民党の派閥の領袖の１人の石原伸晃氏と自民党の甘利幹事長が落選したことです。甘利氏は比例で救われましたが、石原氏は比例も及びませんでした。

私の千葉８区は失言を繰り返しオリンピック大臣を更迭された桜田義孝氏が敗れました。私が当選してほしくないと願っていた人です。ところが比例で当選しました。比例で救われたのは３回目です。

今の小選挙区制は改革すべきです。私は自民党の候補に投票したいのですが、桜田氏以外に候補がいないのです。仕方なく嫌いな共産党と結びついた立憲民主党の本庄氏に投票することになりました。棄権も考えましたが、棄権はしたくないと思ったからです。

若い人の投票率が低いと問題になっていますが、投票したい人がいないと棄権するしかありません。以前の中選挙区制のほうがよかったと思います。

ＭＶＰおめでとう大谷翔平選手（ＮＯ．１５３４）（令和３年１１月２０日）

２０２１年１１月１８日ロサンジェルス・エンゼルスの大谷翔平選手がアメリカンリーグのＭＶＰを獲得しました。

全米野球記者協会の３０人が全員大谷選手を１位に選ぶという満票でした。日本人の受賞は２００１年のイチロー選手以来２０年ぶりで、ＭＶＰに選ばれたのはイチロー選手と大谷選手の２人だけです。

大谷選手の受賞は読売新聞の夕刊のトップ記事で報道されました。テレビでも各社が大きく取り上げました。イチロー選手のときは、はっきりした記憶はありませんが、社会的にはこれほど騒がれなかったと思います。

イチロー選手は２００１年初の日本人野手としてシアトル・マリナーズに入団、いきなり首位打者と盗塁王の記録を残して、新人王とアリーグＭＶＰに選ばれました。新人王とＭＶＰを同時にとった選手は初めてでした。野球界ではこの快挙に大騒ぎでした。

大谷選手のＭＶＰ獲得はアメリカの野球など知らない人を巻き込むほどの大きなニュースになりました。地元アメリカでも大谷選手の活躍はシーズン中から大きく報道され、大ニュースになっています。社会現象にもなったと言えます。

おそらくその原因はベーブルース以来と言われる投手と打者の「二刀流」にあったと思われます。投手としてはチームトップの９勝２敗、奪三振１５６、防御率３.１８という堂々たる成績でした。打者としては、打率こそ.２５７でしたが、ホームラン４６本（あと２本でホームラン王）、盗塁２６個、３塁打８個（リーグトップ）、申告敬遠２０個（リーグトップ）の好成績を残しました。両方が素晴らしい成績だったのが人々を驚かせたのです。野球界に革命をもたらしたと言えましょう。ベーブルースも二刀流のときはこんなにホームランを打っていません。

記録には残りませんが、大谷選手の人柄の良さも人気を呼んでいる原因でしょう。エンゼルスのファンだけでなく、対戦相手の選手や他球団のファン、報道関係者や審判や球場のスタッフなどにも好印象を与えているようです。

これからもますます活躍するよう祈っています。

あっぱれヤクルトー今年の日本シリーズは面白かった（ＮＯ．１５３９）（令和３年１１月２８日）

令和３年１１月２７日、プロ野球日本シリーズでセ・リーグのヤクルトがパ・リーグのオリックスを破り４勝２敗で日本一を勝ち取りました。

ヤクルトは２０年ぶり６度目の日本一です。セ・リーグのチームが勝ったのは９年ぶりのことです。ヤクルトもオリックスも昨年は最下位でした。前年最下位同士のチームが日本シリーズを戦うのは史上初です。どちらが勝っても１９６０年の大洋ホエールズ以来の前年最下位が優勝という記録に並ぶことになっていました。ヤクルトがやりました。

今年の日本シリーズは、６戦中５戦が１点差、残り１試合も２点差というまれに見る好試合でし

た。昨年、一昨年のだらしない巨人とは大違いです。巨人はソフトバンクに８連敗でした。

巨人ファンの私はどちらかというとセ・リーグのチームを応援するのですが、シリーズが始まる前は２５年ぶりの優勝がかかったオリックスが勝ってもいいと思っていました。しかし第１戦でヤクルトがサヨナラ負けをしたため、やはりセリーグを応援することになりました。

それにしても面白かったです。ヤクルト、オリックス、ありがとう。そしてヤクルト、おめでとう。

２０２１年日本１０大ニュース（ＮＯ．１５４８）（令和３年１２月２５日）

２０２１年１２月２５日、読売新聞の読者が選んだ「２０２１年日本１０大ニュース」が決まりました。

１　大谷翔平、メジャーＭＶＰに
２　東京五輪、日本は史上最多５８メダル
３　新型コロナワクチン接種開始
４　眞子さま、小室圭さん結婚
５　静岡・熱海で土石流、死者、行方不明者２７人
６　新型コロナ、変異株が猛威
７　自民党総裁に岸田氏、首相に就任
８　将棋・藤井聡太さんが新竜王、最年少四冠に
９　ゴルフの松山英樹がマスターズ優勝
１０　東京五輪「原則無観客」決定。直前まで混乱続く

読売新聞が用意した１１月までの５７項目から１０項目を選んで応募する方法です。

有効応募総数は昨年の１７１２０通より多い２７７３１通でした。年代別では７０歳以上が一番多く２６％で、それに次いで多かったのは６０歳代で２５％でした。昨年１番多かった１９歳以下は１７％で４番目でした。

全項目的中者は昨年の２８６人より大幅に少なく１４人でした。

全体では６項目的中者が一番多く２３.９％でした。

私も応募しました。昨年と同じ９項目の的中でした。

１０　の代わりに
１４　東京パラ、日本は史上２番目５１メダル

を選びました。

１０も候補に入れたのですが、１４の良いニュースのほうが選ばれると思って１０を落としたのです。９項目的中者は５９７人ですが、そのうち１００人に抽選で記念品が贈られるそうなので期待しないで待っています。

２０２１年海外１０大ニュース（ＮＯ．１５４９）（令和３年１２月２６日）

２０２１年１２月２６日、読売新聞の読者が選んだ「２０２１年海外１０大ニュース」が決まりました。

１　ジョー・バイデン氏が米大統領に就任
２　新変異株「オミクロン株」、世界で感染拡大
３　新型コロナの世界感染者が２億人超に
４　ミャンマーで国軍がクーデター
５　アフガニスタンでタリバンが首都制圧
６　日本のコンテナ船、スエズ運河で座礁
７　北朝鮮、相次ぎミサイル発射
８　トランプ大統領支持者が議事堂占拠
９　中国の不動産大手「中国恒大」が経営危機
１０　新型コロナ飲み薬、米製薬大手メルクが使用申請

読売新聞が用意した１１月までの５１項目から１０項目を選んで応募する方法です。

有効応募総数は昨年の１２１５７通より大幅に増えて１９０８８通でした。年代別では６０歳代が最も多く２５％でした。それに次いで７０歳以上が２３％でした。昨年最も多かった１９歳以下は２０％でした。

全項目的中者は昨年は６人でしたが、今年は２人に減りました。全体では６項目的中者が最も多く２６.７％でした。

私も応募しました。８項目の的中でした。

９，１０の代わりに
１６　英国でＣＯＰ２６
２６　韓国地裁、元慰安婦の損害賠償請求を却下

を選びました。

昨年は６項目の的中だったので、少し成績が上がりました。８項目的中者は７８９人ですが、抽選で選んだ１００人に記念品が贈られるそうなので、日本１０大ニュースと同じくやはり期待しないで待つことにします。